3 国民世論の啓発

返還要求運動の取組

北方領土の返還実現のためには、裾野の広い返還運動に粘り強く取り組み、幅広い国民世論を結集して、外交交渉を後押ししていくことが重要です。

内閣府北方対策本部での取組

○(独)北方領土問題対策協会と連携して、民間団体や各都道府県に設置されている都道府県民会議(※)等が全国各地で開催している、大会、キャラバン、講演会、パネル展等の返還要求運動・啓発活動の支援

※都道府県民会議･･･地域における北方領土返還要求運動の推進基盤となっている組織。

○政府広報を始めとする多様な媒体を利用した広報・啓発

2月7日は「北方領土の日」

昭和56年１月の閣議了解により、毎年２月７日を「北方領土の日」と定めました。
この日を中心として、北方領土返還要求全国大会を始め、各地で様々な事業が実施されています。
なお、２月７日は、1855年に日露間の国境を択捉島とウルップ島の間に定めた日魯通好条約が調印された日です。



令和８年北方領土返還要求全国大会の様子



高市内閣総理大臣による挨拶
出典：首相官邸ホームページ
(https://www.kantei.go.jp/jp/104/actions/202602/07hoppou.html)



黄川田内閣府特命担当大臣(沖縄及び北方対策)による挨拶
出典:令和８年北方領土返還要求全国大会実行委員会

大会の様子をYouTubeで配信しています。



啓発キャラクター

北方領土問題をわかりやすく説明するキャラクターとして登場。
北方領土の周辺海域で生息する海鳥「エトピリカ」をモチーフにしています。



エトピリカ



北方領土
エリカちゃん

みんなに北方領土について知ってもらいたくて、生まれたんだッピ！北方四島が大好きで、四島それぞれにエトピリカのお友達が住んでるッピ♪全国のイベントに参加したり、各種SNSでもイベント情報や北方四島に関する情報をみんなに発信しているピィ♪

エリカちゃんのボーイフレンドでアウトドア好きの登山家。



国後島エリオくん



択捉島
エリマルくん

くいしん坊の大食らい。地元の食材を使った料理が得意。



歯舞群島
エリナちゃん

エリカちゃんの親友で活発な女の子。地元漁師(カニ漁)の娘。



色丹島
エリヨシくん

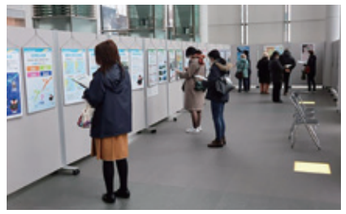
植物や鳥など自然の生態に詳しい。ナイーブでインドアなハカセタイプ。

全国各地で行われている活動

昭和61年に根室市で開催された都道府県民会議全国会議において、毎年２月と８月が「北方領土返還運動全国強調月間」として設定されました。
強調月間を中心に、全国各地で様々なイベントが行われています。



北方四島エリカちゃんネル(富山県)



北方領土パネル展(福島県)





街頭啓発活動(宮崎県)



こども霞が関見学デー(東京・永田町)

着ぐるみのエリカちゃん、エリオくんは全国各地で開催されているイベント等に登場し、一緒に啓発活動を行っています。
着ぐるみは(独)北方領土問題対策協会により貸出しを行っています。

北方領土返還要求中央アピール行動

北方領土返還運動のはじまりの日である12月１日を中心に、毎年東京において、北方領土問題に対する国民世論の喚起高揚を図ることを目的として、アピール行進や街頭啓発等が実施されています。



アピール行進



北海道及び北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会による要請



街頭啓発(北方領土展2025 in Tokyo)

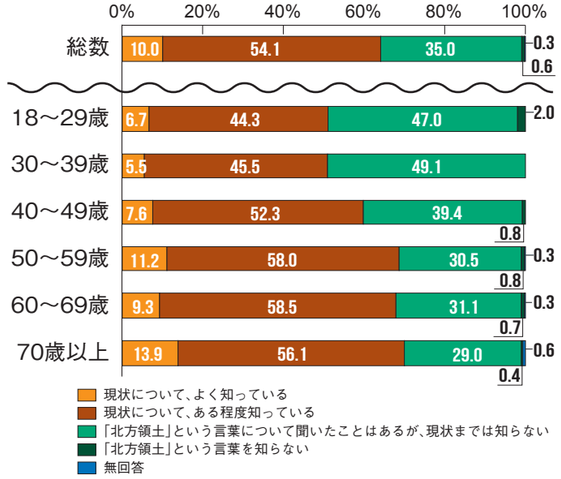
出典：首相官邸ホームページ(https://www.kantei.go.jp/jp/104/actions/202512/01hyoukei.html)

世論調査等

北方領土問題に関して、世論調査等を実施しています。

○政府の「北方領土問題に関する世論調査」（令和５年度）では、「北方領土」という言葉を聞いたことがある人は99.1%に上る一方で、北方領土の現状について一定程度以上理解している人は６割超（64.1%）にとどまり、また、若年層の認知度が相対的に低いことが判明しています。
○潜在的な参加意欲まで含めると、3割を超える人に広報啓発活動への参加意欲があることが判明しています。
○情報入手手段としてSNSが台頭してきており、広報啓発活動についてSNSが効果的であるとの結果も出ています。

○北方領土の認知度



○広報啓発活動への参加意欲

積極的に参加したい、機会があれば参加したい、誘いがあれば参加しても良い、の合計値	
18～29歳	25.6%
30～39歳	27.8%
40～49歳	29.6%
50～59歳	34.0%
60～69歳	39.4%
70歳以上	43.3%

○北方領土の情報入手手段

テレビ	88.0%
新聞	50.5%
学校の授業	32.5%
本や雑誌などの出版物	20.1%
政府や団体などのホームページやインターネットのニュース	16.4%
ラジオ	14.3%
SNS（YouTube、旧TwitterのX、Instagram、Facebook など）	11.6%
家族や知人	7.6%
広報・啓発イベント	4.7%
パンフレットやリーフレット、ポスター	4.1%
街頭ビジョンや駅・空港のモニターなど	1.8%

○返還運動に参加してもらうために効果的な取組

北方領土返還運動をより理解するための情報提供の充実	65.6%
新聞、テレビ、ラジオなどを用いた北方領土問題に関する情報の拡散	60.2%
北方領土問題に関する学校教育の充実	41.4%
Web サイトや SNS を用いた情報の拡散	28.4%
元島民の体験談など、当事者の生の声が聞けるイベントの充実	26.5%
イメージキャラクターやタレントなども活用した、気軽に参加できるイベントの充実	11.9%
日頃から広報啓発活動をしている団体関係者や公的機関の代表者などが一堂に会する大会の充実	8.1%

そのほか、内閣府北方対策本部では、以下のようなテーマで調査を行っています。
・北方領土隣接地域における地域一体となった啓発促進策についての調査研究
・新たな時代における北方領土返還要求運動の在り方に関する調査
・ICTを活用した北方領土教育・学習に関する調査
・北方領土問題に関する若年層向けの効果的な広報手法及び媒体調査　など
詳細については、内閣府北方対策本部HP（https://www8.cao.go.jp/hoppo/）を御覧ください。

若年層へのアプローチ

SNS 等を活用した情報発信

（独）北方領土問題対策協会では、一般向け、とりわけ次代を担う若年層向けの広報啓発を推進する観点から、国民の利用度が高いインターネット動画配信サービスを活用し、動画視聴者の関心度に応じた様々なネット動画を作成、配信しています。



1分でわかる北方領土問題



北方領土隣接地域の現地予習動画



エトピリカ　～想いを紡ぐ鳥～

（独）北方領土問題対策協会のYouTubeチャンネルはこちら

また、イメージキャラクターのエリカちゃんとエリオくんが、各種SNSで北方領土に関する情報を発信しています。











政府広報オンラインでは、「北方領土問題：占領から約80年｜択捉島元島民の想い」を配信しています。

映画『ジョバンニの島』



平成26年2月、一般社団法人日本音楽事業者協会創立50周年記念作品として公開されました。北方領土の元島民であり、「語り部」として活躍されている得能 宏 さん（色丹島出身）の経験を踏まえた、色丹島が舞台のアニメーション映画です。

以下の上映会に対し、（独）北方領土問題対策協会が支援を行っています。
●北方領土返還要求運動都道府県民会議等が主催して行う非営利上映会
●青少年を対象として学校単位で開催する非営利上映会（北方領土問題教育者会議及び北方領土返還要求運動都道府県民会議を通じて行うもの）

北方領土漫才





「北方領土漫才」は、北海道を拠点に活動している人気お笑いコンビ「アップダウン」が展開する、北方領土問題を分かりやすく伝える漫才です。

（独）北方領土問題対策協会では、都道府県民会議等が実施する「大会」「研修会」等の既存啓発事業において、北方領土漫才を行う際の事業経費を助成しています。

修学旅行の誘致

次代を担う若い世代の関心を喚起するため、北方領土隣接地域への修学旅行等の誘致支援を行い、より多くの若い世代が北方領土を直に眺めたり、元島民の方々などから話を聞いたりすることにより、北方領土について深く正しい理解を身につけられるよう取り組んでいます。

○「北方領土を目で見る運動」修学旅行等誘致事業

（独）北方領土問題対策協会では、全国の中学校・高等学校等を誘致することで隣接地域を活性化し、さらなる北方領土返還要求運動の推進に寄与することを目的として、北方領土教育を取り入れた学習プログラムに関わる経費を補助しています。

○対　象：全国の中学校・高等学校等
○要　件：「北方領土学習プログラム」のうち2つ以上実施すること。

※補助を利用するには修学旅行実施前に申請が必要です。
※参加人数に応じ、限度額がございます。
※経費補助内容は変更となる可能性があるため、詳細については、（独）北方領土問題対策協会にお問い合わせください。
（URL）https://www.hoppou.go.jp/

≪補助メニューの概要≫

北方領土学習プログラム		
a	北方領土の洋上視察研修	全額補助 ※一部費用を除く
b	隣接地域内の北方領土啓発施設における研修	
c	元島民等による講話	
d	隣接地域内の基幹産業等の視察・体験を通じた北方領土研修	
e	隣接地域内の中学校・高等学校等の生徒との交流研修	

交通費	
バス（借上）	全額補助
航空機（運賃）	一部補助

宿泊費
一部補助 ※隣接地域に宿泊した場合のみ

その他の学習プログラム
一部補助（最大３プログラムまで） ※隣接地域内での参加・体験型学習プログラムを実施した場合

○北方領土隣接地域への修学旅行誘致促進のための下見ツアー

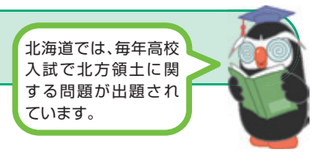
北方領土隣接地域を修学旅行先として検討してもらうため、修学旅行を担当する学校の先生を対象とした下見ツアーを行っています。


納沙布岬


元島民による講話


農業体験

学習指導要領における「北方領土」の取扱い



○小中学校の学習指導要領（平成29年３月改訂）

我が国の領土に関する教育等の一層の充実を図るため、中学校学習指導要領・社会科（地理的分野）に加え、小学校学習指導要領・社会科並びに中学校学習指導要領・社会科（歴史的分野）及び社会科（公民的分野）において「北方領土」が新たに明記されました。

○高等学校の学習指導要領（平成30年３月改訂）

我が国の領土に関する教育等の一層の充実を図るため、地理歴史科（地理総合、地理探究、歴史総合、日本史探究）及び公民科（公共、政治・経済）において「北方領土」が新たに明記されました。

※学習指導要領：文部科学省が学校教育法等に基づき定めている、各学校で教育課程（カリキュラム）を編成する際の基準。

北方少年少女による総理表敬

（独）北方領土問題対策協会では、北方領土隣接地域（根室市、別海町、中標津町、標津町及び羅臼町）に在住する北方地域の元居住者の３世、４世等から選抜された中学生による内閣総理大臣への表敬訪問を行っています。


記念撮影
出典：首相官邸ホームページ
（https://www.kantei.go.jp/jp/103/actions/202507/29hoppou.html）


表敬の様子
出典：首相官邸ホームページ
（https://www.kantei.go.jp/jp/103/actions/202507/29hoppou.html）

北方領土に関する全国スピーチコンテスト

（独）北方領土問題対策協会では、北方領土問題に対して関心を持ち、正しく理解してもらうことを目的として中学生を対象としたスピーチコンテストを実施しています。

＜令和７年度　主な受賞者＞

・北方対策担当大臣賞
岩橋 愛采さん　　島根県 雲南市立三刀屋中学校

・内閣府北方対策本部審議官賞
米倉 愛さん　　佐賀県 唐津市立小川中学校

・独立行政法人北方領土問題対策協会理事長賞
野上 凛さん　　島根県 浜田市立第三中学校


令和７年度　北方対策担当大臣賞を
受賞した岩橋さんによるスピーチの様子

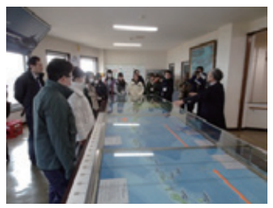
教員・生徒等を対象とする研修や事業の周知

例年、学校教育における北方領土教育の重要性に鑑み、内閣府から文部科学省に対して、教員及び生徒等を対象とする北方領土問題に関する研修や事業の趣旨の周知を依頼しています。


教育指導者現地研修会


元島民による講話


羅臼国後展望塔から北方領土を視察


北方館を見学

文部科学省に対する要請文書を通じて参加要請を行っている主な事業

（（独）北方領土問題対策協会主催）
・北方領土問題教育指導者現地研修会
・北方領土問題教育委員会関係者現地研修会
・北方四島交流教育関係者・青少年訪問事業
・北方四島交流青少年受入事業
・北方領土に関する全国スピーチコンテスト
・北方領土問題キャッチコピー

（都道府県民会議主催）
・北方領土問題地域青少年育成事業
・北方領土問題教育指導者地域研修会
・北方領土青少年等現地視察事業